

2020～2021年度
東松山むさしロータリークラブ
会長 神田 茂

テーマ ロータリアンは手を携えて

基本方針

本年度 R I 会長ホルガー・クナーク氏は、テーマを「Rotary Opens Opportunities.」
「ロータリーは機会の扉を開く」とし、「ロータリーとは、クラブに入会するというだけでなく、無限の機会への招待。」と説明されました。

これを受け、相原茂吉ガバナーは地区のテーマとして「Let's make fellows!」「友達をつくろう」とし、「積極的にロータリーの扉を開き一緒に活動し、そしてできるだけ多くの友達を、すなわち価値観を共有する仲間を一人でも二人でも増やして欲しい」と説明されました。

新型コロナウイルスは、私たちの生活の常識を、根本から変えてしまいました。多くのロータリアンが、その事業に経済的影響を受けました。しかし、115年の歴史を持つロータリーは、その間数々の苦難を乗り越えてきました。

ロータリー活動が、私たちの機会の扉を開き、私たちの活動が、誰かのために機会の扉を開く。困難な時こそ、一人でなく仲間同士手を携え、助け合い、知恵を絞り、奉仕する。「世界を変える行動人」それがロータリアンです。どんな時でも、輝き続け前に進みましょう。

今年度のテーマを「ロータリアンは手を携えて」としました。

基本計画

1. 健康管理を最優先し、楽しみながら例会を共有する。
2. 会員の事業活動を再確認し、高い水準の職業奉仕を応援する。
3. 状況に応じた奉仕プロジェクトを考え、会員の結束を図る。
4. ロータリーを楽しみ、会員を増強し、退会者を出さない。
5. 例会以外のネットワークを構築する。